

# 平成 19 年度『市長と語ろう』地域懇談会記録

平成 19 年 11 月 29 日(木) 午後 2 時 00 分～4 時 30 分

【会場】麓郷集落センター 【出席者】25 名

【対象地域】 麓郷

担当部	意見・要望の要旨	回答の要旨
総務部	経費の削減で4、5年のうちに職員が40人いなくなるが、市民サービスは大丈夫か。	定員適正化計画で課をまとめ、職員を減らす計画。福祉、医療、教育サービスは今より低下しないように努力する。
経済部	<p>人口が減るのが心配。麓郷の農家戸数は50戸。ピークは300戸あった。後継者は半分しかなく確実に人口は減る。集落が消滅しないよう対策を考えてほしい。</p> <p>農協経営が変わってきているのは組合員は知っている。農村を経営する農協トップと市長が対話してほしい。</p> <p>お嫁さんだけの問題ではない。農業経営が成り立てば農業をする。外部から呼ぶのもいいけど、地元の若者が誇りをもってやっていけることが大事。このままでは農家戸数が3分の1になる。国に対して強い要望が必要。</p> <p>農業は煌びやかではない。農業やっているとお嫁さんが来ない。来ても経営が出来なくなると旦那も一緒に行く。農業の考え方を行政と農協が中央にぶつけていくことが大事。農政は現場に入らないと具体策が出ない。</p>	<p>北海道は産業なく内陸は企業誘致が難しいので、観光と定住を考えたい。雇用はそういう状況の中作っていきたい。農協と行政は違うが連携した地道な努力が大事。有機農法などで農業環境を整えることも大事。</p> <p>農家で独身者が110人いる。農家自身が後継者(配偶者)を探す努力が必要で、それを行政がバックアップする。富良野に来て農家をやりたい人の育成も必要。農家経営は個人では難しい。</p> <p>上川地方総合開発期成会、全道市長会、道北市長会と一緒に国に陳情している。今後も努力していく。</p> <p>南幌町は法人で農業経営をやっている。給料制で農業をする方法のように感じた。後継者の問題もある。地元から声が出てこないと上にあげられない。21年度からの新農業計画で対応したい。</p>
総務部	公共料金の未収、未納はどのくらいあるのか。払えるのに払わない人はいないのか。行政と市民との間で未収金の情報ができれば、払う人も出てくる。	未収金の収納対策はプロジェクトをつくり取り組んでいる。未収金は総額で1億3千万円。国保は1億9千万円ある。分納などで納税してもらっているが、税の公平のため差し押さえや競売も実施している。公営住宅は2400万円の滞納がある。保育料370万円。前年より少なくなるよう、役所を挙げて取り組んでいる。

担当部	意見・要望の要旨	回答の要旨
総務部	麓郷振興会で地域振興課という部署をつくり定住者を増やそうと移住情報をホームページ（HP）で発信している。4組入っている。札幌の人から2件住みたいとの問合せがあり、そのうち1件がうまくいきそうな状況。市のHPと連携したいが、いかがか。	市の移住の総合窓口は企画振興課に設置して進めている。連携していきたい。（既に市のホームページに麓郷振興会のホームページをリンク済）
経済部	「ふらっと」は健康にいいが、人数が少なく残念。宣伝して健康維持のために活用してもらいたい。	「ふらっと」は2階が水泳、3階がトレーニングルームとなっている。水泳プールの利用者は今一步だが、トレーニングルームが好評で当初予定を超える勢い。今後の利用者増加に向け、施設見学会、出前講習会も用意しているので、一度、「ふらっと」を活用して頂きたい。
総務部	道条例があるため富良野が規制を受けるものがある。道条例の改正はすぐできないのか。	道条例で規制されているものを富良野だけ除外することは難しいが、納得できる理由であれば、行政や議会に反映する方法はある。
建設水道部	協会病院の跡地利用は。	法定協議会を2月設立して協病跡地、くにい跡地を含めて具体的な見解を出すことになっている。街なか居住、コンパクトなまちづくりに向けて法定協議会で議論している。来年3月までに計画を立て、市民に情報公開したい。具体的なものは議論中と理解していただきたい。
経済部	農地・水・環境保全向上対策事業の状況は。  麓郷は非農家が多いので説明できる理由がほしい。農家は3千円出してもいいが、非農家は農家のために3千円とはならない。中身は何に使われるのか。	この事業は、改良区，JAと協議し20年度から取り組むことにした。市内を5地区に分け、水田、畑、草地を対象地に総事業費は1億8千万円、市の負担は4分の1の4500万円。農家と非農家が一緒に取り組み、負担金は一戸3千円にしたい。1月に地区別に説明会をする予定。  自分の土地は自分たちで守っていくことが大事で、環境保全は非農家も関係する。国から交付金があるが、使用方法は地域で考えてもらうことになる。3千円については本事業終了後の集落の環境保全対策に使う予定。 麓郷と布礼別の保育所の統合について懇談した。入所者が激減しそれぞ
保健福祉部	保育所の統合関係で、状況を知りたい。	

担当部	意見・要望の要旨	回答の要旨
総務部	<p>昨年も地域懇談会に出席した。昨年の資料と比較するため机がほしい。できれば夜やってもらいたい。</p> <p>懇談会はいつも高齢者で若い人の出席が少なくて残念。移住して7年目になる。移住の発信情報は集約が必要。夏だけならいいが、冬は大変。的確な情報が必要である。非農家なので今の話もわからなかった。懇談会では話しやすい雰囲気作りが大事。提案として、職員の仕事として、市民の声を吸い上げたり、納得させたりするサービスを提供する組織的なシステムが必要。出前講座も1人だと利用できない。</p>	<p>れ10人以下になることから、統合に麓郷地区は理解されているが、布礼別地区は反対している。布礼別と麓郷の父母と懇談会を続けていきたい。行政としては一つにまとめたい。</p> <p>ひざを交えるため、敢えてテーブルは置いてないが、地域によって必要なら対応したい。</p> <p>今年から月2回、広報を職員が町内会長宅に配達し、地区の意見を持ち帰るシステムにしている。また、各地区にコミュニティ活動推進員をつけているので活用していただきたい。出前講座は1人でも2人でもやるので活用してもらいたい。移住者との懇談会を開きたい。広報で移住者の記事を出している。住んでよかったとも思われるまちにするためにこれからも努力していきたい。</p>